

2024年4月26日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 緑を愛する会 日野

代表者・役職名 氏名 佐伯直俊 代表

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

樹木 花咲いさんプロジェクト 2

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2005年12月創設。公園造設の際に緑地保存の要望署名活動が会のスタート。署名と役所との話あいで当初よりも緑地が広がり、その一角がビオトープとして残った。会員10名。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

公園に四季折々の花が咲く樹木を植え、人と自然の親和感を高める。かつては花が咲かない植物がほとんどであったが、その一角にチューリップを植えてから、花が楽しみで活動に参加するようになった人がいる。「自然観」は人によってまちまちであるなか、「花」は自然への入口として最適で、活動をとも行い多様な花を咲かせて達成感を共有し、仲間意識の醸成と、公園来訪者の自然へのいざないのきっかけにしたい。それらを総合して地域と公園の存在価値向上に寄与していきたい。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

昨年プロジェクトに続き、不足部分を補う。緑を愛する会日野のメンバー、興味を持っている方々とともに花咲く樹木を植える。①枕木で花壇を設置②土類の補充③花咲く樹木の植え付け④花壇名を明示する銘板作成⑤落ち葉堆肥づくり⑥作業用の消耗品購入

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

昨年に引き続き花壇がより良くなっていくことで、その成長に楽しみを感じている地元企業の方が植えつけや草刈・枝打ち作業に継続的に参加してくれている。この活動に役所の方からもバックアップ頂けた。また日野市社会福祉協議会 ボランティアセンター「夏の体験ボランティア」では、6人の子どもたちが花壇づくりに参加してくれた。(写真) 活動実施回数 28 回、のべ人数 79 人。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今年の助成ではキンモクセイ、ジンチョウゲ、ミツバツツジを植えることができた。2年連続の助成で花の種類がようやく増えてきた。春～秋の花々が絶えず咲くよう努力していきたい。花は栄養が絶えず必要になるので、長期的には土の補充と肥料調達をどのようにするかが課題となる。植えたものを大事に育てて、より大きくしていきたい。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください

